

令和7年度 小学校採用

広島県立広高等学校 出身

私が採用試験を受けるにあたって一番不安だったことは、採用試験の勉強の仕方でした。私は3年生からチャレンジ受験に挑戦したので、まず先生方にどんな勉強をしたらよいか相談しました。そこで具体的な勉強法のアドバイスをいただいたことで、不安なく勉強に取り組むことができました。

2年生の冬からは、過去問題を徹底的に解きました。自分の苦手なところは積極的に参考書で調べたり、先生方に教えていただいたり、一つ一つ克服していきました。その積み重ねが合格につながったと思います。

就職後は、たくさんの児童との出会いを大切に、胸を張って教壇に立てる教師を目指します。

広島県立安芸高等学校 出身

私は3年生のときに広島のチャレンジ受験をしました。「絶対に合格をしたい」という強い覚悟で挑み、教職教養と学習指導要領について重点的に勉強した結果、合格をいただくことができました。この経験ほど「挑戦することの価値」を教えてくれたものはないと思っています。だからこそ皆さんも、ぜひチャレンジ受験から挑戦してほしいです。

二次試験の勉強では、仲間と励まし合い、先生方からは懇切丁寧なご指導をいただきました。その過程で、周りの人の支えの大きさに胸が熱くなることが何度もありました。

4月からの教育現場では挑戦することを忘れず、学んだすべてを子どもたちのために生かしていこうと思っています。

島根県立浜田高等学校 出身

私が教員採用試験合格に向けて重点的に取り組んだことは情報収集です。過去に行われた試験問題の内容や傾向を把握して効率よく勉強するようにしていました。

また、私は県外を受験したので広島の試験にはない試験内容もあり、とても不安でした。しかし、大学の先生方やゼミの仲間たちが、集団討論など1人では出来ない対策などに、一緒に取り組んでくれたため、安心して受験することができました。

就職後はこの大学で学んだことを生かして、教員として児童が安心できる学級づくりを目指します。

広島市立広島工業高等学校 出身

私が教員採用試験に向けて大切にしたことは、授業や対策講座で取り扱われた内容を重点的に復習したことです。その甲斐あって一次試験に合格することが出来ました。二次試験に向けて大切にしたことは、『求められる教職員像』をよく理解することです。合格するためには、相手が求めていることを理解し、それを基に自分の考えと照らし合わせながら、最終的な結論に落とし込むことが一番の近道だと考えました。

結果を受けて、来年度から実際に教壇に立つんだという自覚とその責任の重さを感じています。将来を担う子ども達のために、自分に出来ることをしっかりと頑張っていきたいと思います。